

令和 8 年度第 7 回（令和 8 年 7 月 1 4 日）庁議提案

☒審議 ☐報告 ☐その他

担当部・課：産業部観光政策課〔内線 3 5 3 7〕

1 件名

いしのまき観光大使の新規委嘱について

2 施策等を必要とする背景及び目的（理由）

【背景】

観光大使は、観光・物産の PR や、イメージアップなどを担う重要な役割であり、宮城県や仙台市のほか、各自治体で委嘱している。

本市においては、東日本大震災で得た支援者とのつながりなどを大切にし、現在、本市は 2 8 名と 1 組に観光大使を委嘱している。

【目的】

観光大使の委嘱により、本市の魅力を広く紹介し、市の観光振興とイメージアップを図るもの。

3 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性

【根拠法令：☒有 ☐無】

【総合計画の位置付け：☒有 ☐無】

第 4 章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち

第 4 節 地域資源を活かした観光事業の振興

【個別計画の位置付け：☒有 ☐無】

石巻市産業振興計画

第 2 章 本市の産業振興の基本方針

施策 4 地域資源を活かした観光事業の振興

4 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）

令和 8 年 6 月 新規委嘱候補者へ就任意向の確認

5 主な内容

1 新規委嘱者（令和 8 年 8 月 1 日付け）

以下の者を、令和 8 年 8 月 1 日付けで、新規にいしのまき観光大使として委嘱するもの。

- ・佐藤 あり紗：元女子バレーボール選手

仙台市出身で、母（石巻市日和が丘出身）と姉の影響で小学 2 年生よりバレーボールを始める。リオデジャネイロオリンピックへも出場。引退後も指導や解説を通じてバレー界に貢献している。

2 任期

委嘱した日から起算し 3 年目の年度の末日まで（再任を妨げず、任期終了前に再任の確認を行う）。

3 報酬等

- （1）無報酬（ただし、市の依頼で旅行をした場合、予算の範囲内において費用弁償を支給する）。
- （2）観光宣伝に寄与するための名刺、本市に関する情報誌及び資料等を支給する。

6 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

観光大使自身の活動における本市のPRのほか、市内や県内外の各種イベントへの参加により、観光大使の持つ知名度、人気度が効果的に発揮されることで本市の注目度が高まり、観光・物産PR等への効果が期待できる。

【市財政への負担】

なし。ただし、市が依頼した用務に係る費用弁償を支給する（個別事業予算で対応）。

7 他の自治体の政策との比較検討

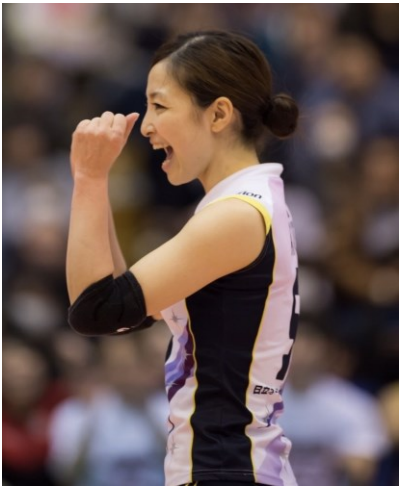
宮城県：みやぎ絆大使（106名）
仙台市：仙台観光アンバサダー（2名1組）
東松島市：ふるさと大使（3名、1団体）
女川町：観光大使（6名）
塩竈市：しおがま未来大使（10名）
気仙沼市：みなと気仙沼大使（66名、1団体）
加美町：加美町観光大使（8名）

8 今後の予定及び施行予定年月日

令和8年8月（予定） 委嘱状交付式、記念品の贈呈

9 その他

いしのまき観光大使 令和8年度追加任命候補者

No.	写 真	プロフィール
1		さとう ありさ 佐藤 あり紗 元女子バレーボール日本代表・リオデジャネイロオリンピック日本代表 宮城県仙台市出身。石巻市日和が丘出身の母親と6歳上の姉の影響を受け、小学2年生からバレーボールを始める。 古川学園高等学校では攻撃の要として活躍し、東北福祉大学ではリベロへ転向。その卓越した守備力と粘り強いプレーが高く評価され、2012年に日立リヴァーレへ入団すると、日本代表に選出された。 2013年には、ワールドグランドチャンピオンズカップ(グラチャンバレー)でベストリベロ賞を受賞し、日本代表の銅メダル獲得に大きく貢献。2016年には、リオデジャネイロオリンピックに日本代表の正リベロとして出場し、世界の舞台で躍動した。 2023年の現役引退後は、宮城県を拠点に、バレーボール教室や講演会、スポーツイベントへの出演などを通じて、子どもたちへの指導やスポーツの普及活動に力を注ぐとともに、企業アンバサダーとして健康づくりや地域活性化にも積極的に取り組んでいる。